

あなたのふるさと薩摩川内！（通称：あなふるだせん！）

—企業版ふるさと納税「コンベンションシティ挑戦プロジェクト」—



「あなふるだせん！」第2弾の今回は、企業版ふるさと納税「コンベンションシティ挑戦プロジェクト」を活用しているSSプラザせんだいで開催された「令和3年度薩摩川内市男女共同参画フォーラム」の様子をレポートします！

企業版ふるさと納税「コンベンションシティ挑戦プロジェクト」を活用しているSSプラザせんだいで、令和3年7月3日（土）に「令和3年度薩摩川内市男女共同参画フォーラム」が開催されました。

本フォーラムは、一人ひとりの人権が尊重され、性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮できる社会を目指すことを目的に開催されました。

開会のあいさつは、薩摩川内市男女共同参画推進実行委員長の伊東ひとみさん。「まだまだ自分らしく生きられない私がいる。そしてそれは何なのかを男女共同参画の視点から皆様と一緒に考え、新たな道を見つけていきましょう。」と本フォーラムの目標を説明くださいました。



▲開会のあいさつをする伊東ひとみさん

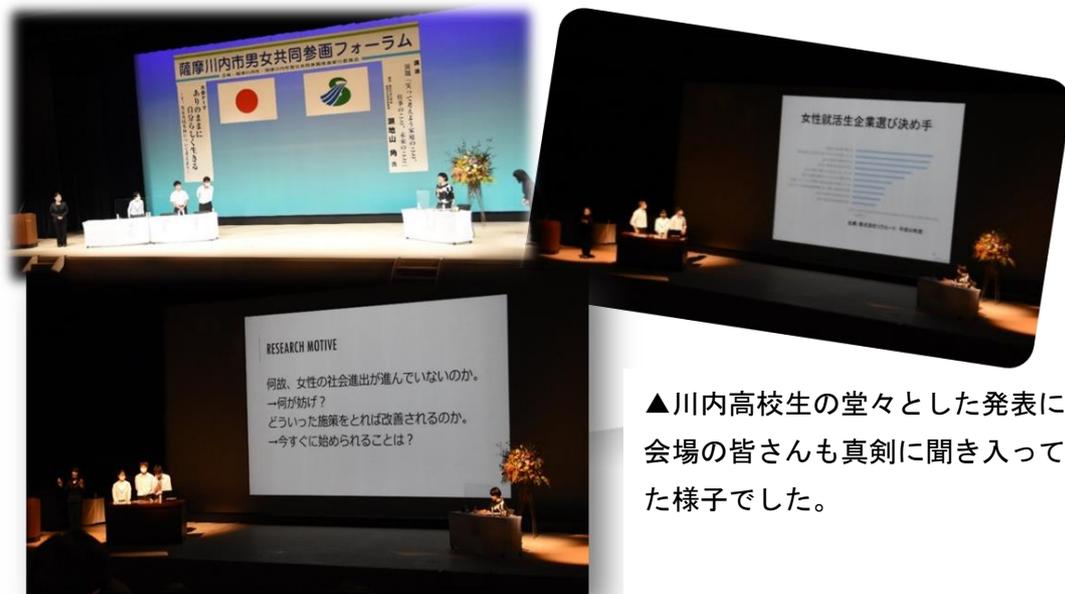
伊東ひとみさん

薩摩川内市男女共同参画推進実行委員長。

1999年に市主催の「エンパワーメント講座」を受講し男女共同参画について学び、その後同講座受講生や県主催「リーダー養成講座」受講生と共に「川内ぱれっと」を立ち上げ、現在はメンバー10人で活動中。

2部構成で行われた本フォーラム。

第1部では、「発信！高校生からの未来につなぐ提言」と題して「男女の固定的性別役割分担意識について」と「女性の管理職登用について」をテーマに川内高校2年生（4グループ 11名）がパワーポイントやポスターを使って提言発表を行いました。



▲川内高校生の堂々とした発表に、会場の皆さんも真剣に聞き入っていた様子でした。

さらに、川内高校生3名と人権啓発トレーナー・ワークショップデザイナーの^{たかさき}高崎 ^{めぐみ}恵さんとのトークセッションも行われ、身近なところでの性別役割分担意識などについて意見交換が行われました。



▲大勢の観客の前で少し緊張した様子の高校生のみなさん。トークセッションでの最後の質問では、「自分らしく生きるとは」「これからの社会の中でどうやっていきたいか」との問いに対し、しっかりと自分の考えを語っていました！



^{たかさき} ^{めぐみ}
高崎 恵さん

男女共同参画関連講座におけるワークショップという学びのスタイルの有用性を実感し、子ども頃から人権意識を高めるため、県が実施する「男女共同参画学びの広場」において、県内各地の小・中学校でワークショップに取り組んでいる。

トークセッションの様子を受け、^{いとう}伊東実行委員長は

「川内高校生は、最初は緊張気味でしたが質問にしっかり考えて自分の言葉で語っている姿をみて、この年代の人たちともっと話をしてみたいと思いました。」

と感想を述べてくださいました。

参加者の感想

私の生きてきた人生には、女は男よりも劣る、男より目立つな、女は家庭を守る…の中で、女性として生きてきましたが、川内高校の皆さんの「女性・男性を超えた1人の人間として生きる」という考えに感動し、私は私として性を他人にも強いる事なく心をフアジーにして生きていきたいと思いました。ありがとう高校生の皆さん。

「管理職」という一点に注目が多かったのは少し残念ですが、社会に出たとき決して埋もれることなく、ますます意見を言えるようになってほしい。大人としても応援したいと思います。

今の高校生の思いが聞けて良かったです。

LGBTQという言葉がなくなるような世界を！「性別に年齢に関係なく自分らしく生活できる社会」の発表をしてくださった生徒さんの勇気に敬服しました。私も同感です。

高校生の感想

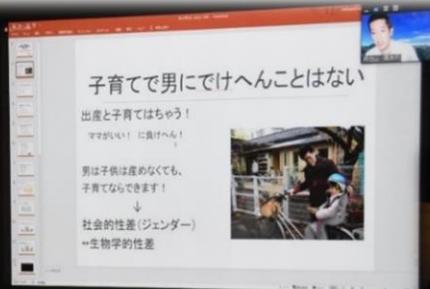
自分のクラスメートがステージ上で話しているのを見て感動した。

私は発表したのですが、とても緊張しました。最後まで発表できて良かったです。代表者4人と先生のトークセッションでは自分に近いこと、異なること、いろいろ知れて良かった。

男女差があることを今の川内高校を例えたことで分かりやすかったです。「女子力がない」などの言葉はよく聞くけど、その言葉も勝手に男女で区別していることが分かった。

第2部では、東京大学大学院総合文化研究科教授 ^{せちやま} 瀬地山 ^{かく} 角さんが「笑って考えよう家庭のこと、仕事のこと、未来のこと」をテーマに、ジェンダー論について分かりやすく講演されました。

講演では、「社会で起きている問題を解決するために性別から自由になることが大切。個人差は性差を超える。女と男で新しい社会を構築しよう！」と提言くださいました。



▼^{せちやま}瀬地山先生はオンラインにて講演をしてくださいました。





せちやま かく
瀬地山 角さん

東京大学大学院 総合文化研究科教授。

日本テレビ「世界一受けたい授業」の東大生100人へのアンケートで東大の人気講師No.1に選ばれたジェンダー論の講義は毎年500人以上で立ち見が出る。NPO法人の理事として保育所の運営にも参加。抱腹絶倒の講演で日本全国を行脚中。

参加者の感想

コマーシャルを何気なく見ていたが、解説つきで見るとなるほど！社会現象を表現していることが分かった。

内容的に分かりやすい講演だった。植林する会社、しない会社の例えの話は、より分かりやすかった。

CM、メディアにおけるジェンダーの問題の根深さを感じました。

何気なく流れているCMだからこそ、私たちの意識に影響を与えていると思いました。

自分達の子育ての頃にこういう機会が（瀬地山先生の）あったら良かったけど、と思う私でした。

高校生といっしょに聞いたことが希望になった。

社会的に現状を見る話で、考える方向性を見つけられた。感情論でなく、リスク管理、幸せは本人が決める。

出産してから正規雇用を諦めなければ宝くじに当たるのと同じ価値であるという話が目からうろこでした。自分の価値観を今一度考えていきたいと思います。

また、多目的ホール入口付近には、本市で活動している団体の活動紹介パネルが展示されました。

【展示団体】

- ・サークルだんでらいおん
- ・薩摩川内市消防団
- ・川内ぱれっと
- ・川内人権擁護委員協議会
- ・薩摩川内市ダイバーシティ研究会

薩摩川内市ダイバーシティ研究会のパネル



フォーラム終了後、実行委員長の伊東^{いとう}さんは、以下のように語ってくださいました。



「ありのままに自分らしく生きる」をメインテーマに「今、男女共同参画について考える」をサブテーマに実施しました。

フォーラムを通して様々な年代に共通して根付いている問題、年代毎に抱えている問題などを知り、そして、「ありのままに自分らしく生きる」とはどういうことかを考える機会となりました。

私たち薩摩川内市男女共同参画推進実行委員は、瀬地^{せちやま}山先生が講演で語られた視点を変えて考えてみる方法、高崎^{たかき}さんと高校生とのトークセッションで出てきた問題と視点の置き方、そして、アンケートでの感想・ご意見などをメンバーで共有し、より広い年代に男女共同参画が理解されるように取り組んでいきたいと思えます。

会場として使わせていただいた新しいSSプラザせんだいは、窓が多く明るい雰囲気ホール入口の展示なども見やすいと感じました。また、多目的ホールステージにある多様な色彩の緞帳は「輝く未来へ翔る」空に勢いよく羽を広げたその姿は、未来に羽ばたく子どもたちの姿や薩摩川内市の今後の繁栄”をイメージしてあるとのこと。私たちのフォーラムにピッタリでした。



SSプラザせんだいの多目的ホールにある緞帳^{どんちよう}をはじめ、一部備品等は、企業版ふるさと納税を活用して整備し、それぞれにご協力いただいた企業名を紹介しております。SSプラザせんだいは、たくさんの人や企業に支えられている場所です。

企業の皆様からの寄附で整備された備品はSSプラザせんだい内にあります。SSプラザせんだいを活用される際は、ぜひご覧ください。



今後も、企業版ふるさと納税を活用し、市民の皆様にも「薩摩川内市に住んでよかった！」と思われるまちづくりができるよう取り組んでいきます！

令和3年度の寄付募集対象事業はこちら！

企業版ふるさと納税制度

薩摩川内市の地方創生を応援してください。



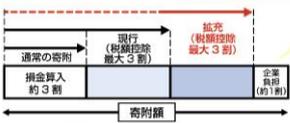
地方公共団体が地方創生のために実施する事業に対し、企業様から寄附を行っていただく、税の優遇が受けられる「地方創生応援税制」が創設されました。

薩摩川内市では、本制度を活用して、次の地方創生プロジェクトにご支援いただける企業様を募集しています。

最大9割減税

※R2.4.1以降に新たに実施する事業年度から適用

企業版ふるさと納税制度



例えば、100万円寄附した場合、税の軽減は90万円となり、企業様の実質的な負担は10万円となります。

企業版ふるさと納税制度を活用された場合、これまでの損金算入による寄附額の約3割に相当する税の軽減に加え、特例措置によって、6割が上乗せされ、合わせて9割に相当する額が軽減されます。

本制度の対象となる地方創生プロジェクト

ESGで経済社会イノベーション推進プロジェクト

本市と九州大学大学院芸術工学研究院の「SDGs」を通じた持続可能なまちづくりに係る連携協定に基づいた新産業経済産業振興の発展に向けた取り組みを実施します。

コンベンションシティ振興プロジェクト

SSプラザせんだいに学会や展示会、イベント等の誘致を推進し、交流人口の拡大及び賑わいのある街なか拠点の形成を図ります。

竹林ビジネス産業化プロジェクト

「竹」の有効利用による産案創出や雇用創出を図るため、市内事業者等が、市内のチップ工場へバルブ用竹材等を搬入する際、その買取単価への上乗せ助成（3.3円/本）を行い、竹の伐採・搬入者及び竹材供給量の増加を促します。

若者就労者奨学金返還支援プロジェクト

若い世代の負担となっている奨学金の返還を支援し、若い人材の市内就労と市外への転出抑制を図るため、基金に積み立てます。

もう一人子どもを持ちたい夢叶えるプロジェクト

子どもの誕生を祝賀し、市内の登録店舗で使用できる商品券（第1子：1万円分、第2子：3万円分、第3子以降：5万円分）を支給します。登録店舗は授乳やおむつ替えが行えるスペースを備えることで、子育て中の親子が安心して外出できる環境整備を図ります。

若者・U/IJターン応援プロジェクト

市内の中小企業等に新たに就職する新卒者等に対し、奨励金を交付し、新卒者等の就労促進と中小企業等の人材確保を支援します。一人あたり：10万円支給

寄附の要件等

- 薩摩川内市外に本社のある企業様がご利用いただけます。
- 申請制度の対象となる寄附は10万円以上です。
- 返礼品はありません。
- 同封いただきました企業様は、社名等をホームページで紹介いたします。

「SSプラザせんだい」のHPはこちら！

「SSプラザせんだい」の寄付プランはこちら！

寄附プラン（法人様向け）

寄附金額に応じて、4種類のプランを設定し、それぞれのプランに応じて企業様へ各種特典をご用意しています。

法人寄附プラン詳細	プラチナ 1,000万円以上	ゴールド 500万円以上	シルバー 100万円以上	ブロンズ 10万円以上
① ロビーへのポスター掲出スペースの提供	● A 1-1 枚-3年	● A 1-1 枚-2年		
② ホームページへのバナー掲出枠提供	● 1枠-3年	● 1枠-2年	● 1枠-1年	
③ デジタルサイネージでの企業名紹介	● 3年	● 2年	● 1年	
④ 多目的ホール座席ネームプレートの掲示	● 先着3社-3年	● 先着5社-2年	● 先着12社-1年	
⑤ 館内ネームプレートの掲示	● 特大	● 大	● 中	● 小
⑥ 感謝状	●	●	●	●
寄附金を活用して整備予定の設備	● 屋外用ディスプレイ ● その他備品 ● イベント誘致経費			
整備済みの設備	● 絨帳 ● 舞台所作台 ● 鳥屋囲い ● 金屏風 ● ピアノ ● 映画用スクリーン ● プロジェクター ● 移動式スクリーン			